

## 市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年7月18日（木） 17時30分～19時00分

場 所：コミュニティセンター桜丘会館集会室

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：26人

### ○参加者からの意見等

#### 【意見】

- ・ この辺り（桜丘コミセン大和市上和田 860-1）は市街化調整区域で農地が多いが、世代交代と共に農業生産者は減少している状況である。
- ・ 大和市役所本庁舎が50年、大和市立病院が30年と、大和市の公共施設は建築からかなりの時間が経過しており、耐震、免震、DXなどを推進するためにも、この辺りの市街化調整区域にまとめて新築してはどうか。
- ・ また、そのような公共施設を集約した敷地の中に、藤沢の「わいわい市」のような地元農産物を販売する施設を併設すると、農業振興、農業生産者支援になると考える。
- ・ この辺りは、国道467号線、県道45号線、小田急線など、交通の便もよいので、集客力のある場所、都内や県内への物流拠点にもなり得る。
- ・ 大和駅周辺の物流の分断、市役所周辺の国道246号線を挟んだ物流の分断、などの解消も視野に入れたまちづくりを進め、産業を活発化させて欲しい。

#### 【市長】

- ・ 夢のある意見をいただき感謝申し上げる。
- ・ 財源の確保は大きな課題であり、他市と比較して法人市民税が少ないため、ここを如何にして上げていけるかが重要と考えている。
- ・ 大和市は人口24万、厚木市は人口22万と人口規模は大和市の方が大きいのだが、財政力指数は厚木市の方が高い。この差は法人市民税の差である。
- ・ 厚木市は工業地域、準工業地域が非常に大きいので、企業誘致が成功しているが、大和市は工業地域、準工業地域も少ないので、私はこの辺りを含め、市内の市街化調整区域の活用が鍵になってくると考えている。
- ・ ご指摘のとおり、市役所本庁舎も市立病院も建築から時間が経過しているので、建て替えたいところではあるが、現在の財政状況では対応が難しい。
- ・ 大和市で事業を展開する企業を増やす、大和市の住民になる人を増やす、選ばれるまちになることで、市の収入を増やしていくことが重要と考えている。
- ・ そのためには、大和市の魅力を広く発信していくことが必要であり、地盤の強さによる“災害に強いまち”、市立病院の小児科救急や周産期医療が充実していることなどをセールスポイントにしていく。
- ・ 市街化調整区域については、土地の利活用だけでなく、下水道のことも含めて、地域の皆さんのためになることに取り組んでいきたい。

### 【意見】

- ・ 宮久保野球場、宮久保スポーツ広場について、人工芝化して欲しい。
- ・ 県道45号線は拡幅工事中であるが、旧小林酒店前の交差点は児童と車の接触事故が発生しているため、完成を待つのではなく、今すぐに歩車分離式の信号機を設置して欲しい。
- ・ 中学校の部活動について、先生方の働き方改革という側面は承知しているが、顧問が居ないために廃部、休止ということが多くなっている。
- ・ 子どもたちが選べるスポーツを増やすため、外部顧問などの対応を早急に進めてもらいたい。
- ・ 市内各地域で行われている「ふれあい広場」について、どこの自治会も高齢化が進み、本来の主旨からかけ離れている状況なので、市が主催者として助言等を行って、主旨に沿った形にして欲しい。

### 【市長】

- ・ 宮久保野球場、宮久保スポーツ広場の土埃等について状況を把握しているが、人工芝化は予算的に対応できる状況ではない。
- ・ 財源の確保は大きな課題であり、こういった公共施設に関しては自治体版クラウドファンディングなども含めて検討していきたい。
- ・ 子どもたちには小さなころからスポーツに触れて欲しいと思っている。
- ・ スポーツを通じて、ルールを学び、仲間と共に困難を乗り越え、相手を敬う気持ちを養って欲しい。
- ・ スポーツは高齢になった時の健康維持にも役立つが、子どもの時にスポーツを経験していたかどうかで大きな差が出る。
- ・ 部活動については、部活動指導員や部活動地域移行推進員などの形で、顧問の先生をサポートする体制を整えており、子どもたちがスポーツするなら大和市となるようにしていきたい。
- ・ 歩車分離式の信号機については警察の所管となるので、関係する所管課を通じて警察に要望していく。
- ・ ふれあい広場を含め、地域のお祭りや催事は重要であり、何とか維持できればと考えている。
- ・ PTAや自治会の役員の成り手不足は、タウンミーティングで毎回のようにご意見としていただいている。
- ・ 特に自治会の高齢化は深刻で、加入率の低下を食い止めるため、加入促進につながる啓発を市としても力を入れていく。
- ・ 自治会については、私は宝と考えている。
- ・ 災害時に秩序が保たれ暴動や略奪が起こらず、人と人が協力し合って共助を行えるのは、自治会を中心とした地域コミュニティによるところが大きい。

### 【意見】

- ・ このままだと自治会が消滅してしまうという心配から、タウンミーティングに参加した。

- ・自治会だけでなく、民生委員など他の役について、何度もお願いにあがっても引き受けてもらえない。
- ・災害時など地域で乗り越えなければならない場合に、自治会が無い状況は考えられないので何とかして欲しい、

#### 【市長】

- ・タウンミーティングでは、各地域の自治会関係者から同じお困りの状況を伺っており、その多くは資源リサイクルステーションの問題に行き着く。
- ・自治会活動の負担を減らし、自治会を維持するために、他の自治体で成功している事例などを学び、加入促進つなげる発信を強化していく。
- ・今回のタウンミーティングで20回目となるが、非常に多くの方から自治会活動に関する危機感やお困りの状況をいただいているということ、関係する所管課と情報共有して、自治会に入るメリット、例えば、インセンティブを付与する、ポイントがもらえるなども含めて検討していく。

#### 【意見】

- ・地域活動の担い手不足は深刻であるが、ボランティアをしてくれる人はいるので、人材バンクのような形で市が取りまとめ、ボランティアを養成してはどうか。
- ・先日、新聞に夏休み期間の食費が高くつくから「夏休みはいらぬ」という記事が掲載されていた。こういうことは声を上げにくいので、大和市として実態調査を行ってはどうか。
- ・「子どもが将来に希望を持てるまち」を実現するためには、市がケアしていくことが大事だと思う。
- ・ヤングケアラーの問題も、今後、市としてどのように対応していくのか。
- ・相談体制についてもしっかりやってもらいたい。

#### 【市長】

- ・大和市もボランティアに関する窓口（やまとボランティア総合案内所）があるので、若い世代などにもっと発信していく。
- ・相談窓口については、この4月から「福祉ここから相談窓口」を立ち上げており、相談から具体的な対応につなげる体制を取っている。
- ・貧困世帯やヤングケアラーについても、利用できる制度や相談窓口があることが知れ渡るように、しっかりと情報を発信していく。
- ・広報やまとを中心に、様々な媒体を活用して情報発信を強化する。

#### 【意見】

- ・健康都市大学は、外出のきっかけとなっていることと、講義の会場で新たな出会いがあったことがとてもよかった。
- ・高齢の方を中心に講師も受講者も非常に為になる事業で評価できるものだったが、取り止めた理由と今後の対策についてお聞きしたい。

#### 【市長】

- ・ 健康都市大学は、職員を配置して市の直営事業として実施していたが、指定管理者が開催している講座と重複していることもあり、令和6年1月末日をもって事業を終了した。
- ・ これにより予算を削減し、指定管理者が行っていた講座の枠を利用して、今月から新講座「ここから マナ☆スタ」を開始している。
- ・ 生涯学習と交流の場として続けていくので、ぜひ参加していただきたい。

#### 【意見】

- ・ 300坪ほどの畑で農業を行っているが、隣の畑が不耕作で檜が生い茂ったことにより、日陰になる冬場は畑が凍ってしまい使い物にならない状況で、周りの農家さんも困っていたが、古谷田市長就任後、すぐに対応していただき感謝している。
- ・ 有機栽培で農業を行っており、野菜ソムリエの活動で健康都市大学の講師もしていた。
- ・ 地産地消は地域の農業を支える部分もあるが、輸送に時間が掛からないので栄養価的に重要である。
- ・ 食料自給率や農家が減少している状況において、新規就農に係る手続きを減らし、農家になるハードルを下げたい。

#### 【市長】

- ・ 市内の農業を盛り上げるためにも「ここから マナ☆スタ」で再び講師をしていただけたら嬉しく思う。
- ・ 大和市は農地が少ないため、新規就農のハードルが高くなるが、新規導入経費に対する助成など、新規就農者への新たな支援も行っている。
- ・ 新規就農は大変だが頑張りたい。

#### 【意見】

- ・ 放課後子ども教室でボランティアをしている中で、子どもたちから意見を預かってきたのでお伝えする。
- ・ 放課後子ども教室は指導室、放課後児童クラブはこども・青少年課と所管が別になっているため、それぞれの子どもたちが交わって遊ぶことができない。
- ・ 子どもたちは純粋にお友達と遊びたいだけで声をかけるがダメと言われてしまう。
- ・ 何かあった時の責任問題であることは理解するが、大人の事情で遊べない。
- ・ 子どもを優先して、縦割りではなく横断的な対応ができないか。

#### 【市長】

- ・ ご指摘の状況について、所管課の職員に何とかしてあげられないかと話し合ったばかりである。
- ・ 今後、子どもたちが交わって遊べるように、組織の見直し等を含めて検討していく。

- ・ 放課後児童クラブの支援員や補助員以外にも、遊びやスポーツを教えられる人がサポートに入れる体制、大和スタイルを作っていきたいと考えている。

#### 【意見】

- ・ 民生委員、自治会役員をしている中で多くの意見をいただいております、代理でお伝えさせていただく。
- ・ 引地川の福田橋でPFASが検出されたことを大変心配している。
- ・ 引地台公園内の樹木について、一部伐採されて木陰が減少している場所があり、このまま伐採が進むのか心配している声がある。
- ・ 専門家が伐採の判断をしていると思うが、伐採する場合は植樹して樹木を減らさないようにしてほしい。

#### 【市長】

- ・ 現在、厚木基地では旧式の泡消火薬剤は使われていない。
- ・ 厚木基地に対しては、本件を含むすべての安全管理を徹底するよう要請しており、今後も要請を続けていく。
- ・ 引地台公園内の樹木について、適切な管理をするよう所管課に伝える。

#### 【意見】

- ・ 総合計画について、骨子案の中で目標があるが、具体的な達成度を数値等で評価していくべきと考える。
- ・ 目標に対して、各分野の施策をどのように実施したのか、わかりやすく説明できるようにしてもらいたい。
- ・ これをやってよかったと判断できるものであるべきで、例えば、シリウスの入館者数だけでは、その中身の評価にはならないのではないか。
- ・ 市のホームページで公開されていた現地現場広聴活動の意見の中に、シリウスの絵本が充実しているから市外から訪れたという声もあり、図書館であれば蔵書の中身など、役に立っているかどうかで判断するとよいと思う。
- ・ 施策や各事業については、徹底して実施してほしい。
- ・ 例えば、条例で路上喫煙や歩きスマホは禁止されているが、現状では野放し状態で誰も注意することもなく、せっかくルール化したのだから市民全体で守ろうという空気にしてほしい。
- ・ 前市長時代のマスク条例がどうなったのか、ふれあいの森できれいに咲いていた芝桜や薔薇がなくなっていることなど、最初だけで継続性がないという状態は無くしてもらいたい。

#### 【市長】

- ・ 前市長時代の条例や事業については、現在見直しを進めている。
- ・ マスク条例については、私が市長に就任後廃止している。
- ・ 総合計画については10年間の進行管理をしっかりと行っていく。
- ・ 詳細は総合計画担当課長から説明させていただく。

#### 【総合計画担当課長】

- ・ 将来都市像実現に向けた7つの目標を達成するために、各施策単位でも目標を設定する。
- ・ 目標に対して具体的、客観的な数値で評価するようにしており、例えば、図書に関しては年間の図書貸出数を指標としている。
- ・ 客観的な数値だけでなく、市民を対象にした無作為抽出によるアンケートで主観的な指標も設定していく。
- ・ さらに個別の事業単位でも毎年事務事業評価というものを実施しており、市のホームページで公開している。
- ・ このような評価を基に予算編成など行政運営を行っている。

#### 【市長】

- ・ 新総合計画についても、策定したら終わりではなくて、市民の皆さんの声を受け止めながら、適宜見直しを図りながらしっかりと進行管理していく。

#### 【意見】

- ・ 民生委員・児童委員をする中で、地域からの声をお伝えする。
- ・ 剪定枝の束、枯葉・雑草の袋の回収について、ごみ停留所に3個までという決まりがあり、4個出ていたら1個残されてしまう。
- ・ 地域には様々な事情があるので、市民に寄り添った対応をして欲しい。
- ・ 樹木や雑草が生い茂って、子どもが遊べる環境ではない公園があるので、適切な管理をお願いしたい。

#### 【市長】

- ・ ごみの回収に関しては、関係する所管課から対応の可否を連絡させる。
- ・ 剪定枝に関しては、焼却するのではなく木質チップにすることで、バイオマス発電用に売却する、樹木などある程度の太さがあれば薪にして冬場の災害用燃料とするなど、循環型社会の実現に向けた検討を行っている。
- ・ 木質チップは堆肥にすることもできるので、ただ焼却するだけではなく、市民に還元できるような形にしていきたい。

#### 【意見】

- ・ 大和市で生まれ育って70数年、大和市の発展の過程をずっと見てきた。
- ・ 災害が少なく、交通利便性が高いというのは、皆さんの見解と一致する。
- ・ 説明があったとおり、北のまち、中央のまち、南のまちと、それぞれの特徴を生かした発展を遂げていると思うが、核になるものが必要だと考える。
- ・ 横浜市、海老名市、町田市、藤沢市には主要駅を中心に核となるまちが形成されているが、大和市にはそれがない。
- ・ 大和市の核となるまちを生み出すには、大和駅周辺の再開発、中央森林地区の開発しかないのではないかと思うので、ぜひ長い目で検討いただきたい。

#### 【市長】

- ・ “災害に強いまち”は大和市の大きな強みである。

- ・ 関東大震災では、当時の技術で建てられた家屋が約660の中で、あの地震で倒れたのは約1割程度と言われており、地盤が強いことで厚木基地や鉄道ができた。
- ・ 地盤の強さに驕ることなく、能登半島地震の教訓である水の確保をするための災害用井戸の整備などしっかりと災害対策を行っていく。
- ・ 市立病院の小児科救急や周産期医療が充実していることも強みである。
- ・ こういった強みを売りに、企業誘致を進めて稼げるまちにしていく。
- ・ 大和市は発信がまだ弱いので、これから発信力を強化して、企業を誘致し、そこで働く若い世代を呼び込み税収を上げていく。
- ・ 大和市の核となるまちづくりについて、しっかりと考えていきたい。
- ・ 中央森林地区は管理がされていない自然になっているので、人の手でしっかり管理した共存できる自然にして、そこに企業も共存していくような形を目指したい。

#### 【意見】

- ・ 総合計画は10年間で、古谷田市長が3期続けることを前提としているようだが、もっと具体的な事業レベルの計画も策定するべきではないか。
- ・ 進行管理においては、具体的な数値を指標にして、市民に分かりやすく目標の達成度を示して欲しい。
- ・ 皆さんの意見を聴いていると、終の棲家としての大和市、ベッドタウン思考を感じるが、自分の子や孫、若い世代に目を向けるべきである。
- ・ 北海道や九州のような大規模半導体工場は無理だが、大学の研究室やベンチャー企業を誘致して、市債を発行して資金援助をするなど、働く場や新たな産業を生み出す大和市を考えてはどうか。

#### 【市長】

- ・ 企業や若い世代に選ばれるまちを目指していきたい。
- ・ 高齢化の進展を踏まえると扶助費の増大は避けられないため、税収を上げていかなければならない。
- ・ 稼げるまちにするためには、ご意見いただいたような、大学の研究室や次世代技術を持つ企業を誘致することが重要と考えている。
- ・ アンテナを張って情報収集しながら、市長のトップセールスによって、呼び込んでいきたい。